

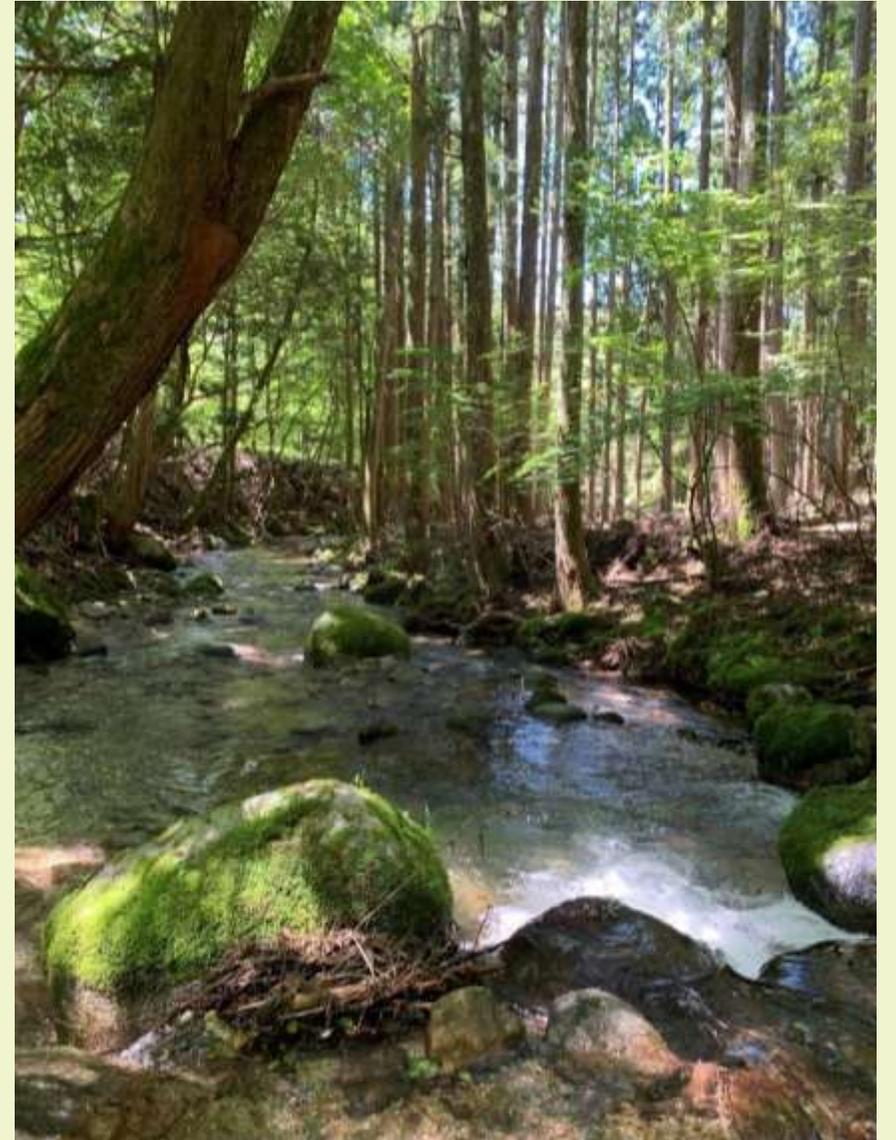
ダム湖面利用を考えよう！
第19回アウトドアカレッジ ダム部
【報告資料】

アウトドアのまち したら

設楽町は豊川、矢作川、天竜川の3つの水系の水源地です。

そこに住む人々は、古くから川を大切にし、山を育て、田畑を耕し、豊かな自然環境と共生した暮らしをしてきました。

「アウトドアのまち したら」とは、設楽町での豊かな暮らしを未来へ繋いでいく取組です。



「アウトドア」とは？

「アウトドア」と聞くと、キャンプや登山、オリエンテーリングなどを想像されるかもしれませんが。

しかし設楽町では、アウトドアの本来の意味である「屋外」での活動すべてをアウトドアと考えます。

つまり、畑や田んぼでの農作業、草刈り、蜂ぼいやひなたぼっこなどもアウトドア活動です。

設楽町の暮らし＝アウトドア



アウトドアカレッジとは？

今ある地域資源、語り継がれる文化などを再認識し、設楽町での豊かな暮らしを未来につないでいくため、みなさんと一緒に考え、取り組んでいく場です。

これまでに、ダム湖周辺整備に関する意見交換会、焚火を囲んだ交流会、ワークショップなどを実施してきました。

毎月第3水曜日の19時～20時を基本に開催しており、どなたでもご参加いただけます。



ダム湖面利用を考えよう！

第17回アウトドアカレッジ

日 時：令和7年2月19日(水) 19時～20時

場 所：設楽ダム広報展示室

参加者：46名

テーマ：ダム湖面利用を考えよう！

内 容：第17回アウトドアカレッジまでの振り返り
ダム湖面へのアクセスに関する進捗状況
ダム湖面利用の意見交換、ダム湖視察提案
今後の予定など

令和7年2月19日19時～20時@設楽ダム広報展示室
ダム湖面利用を考えよう！第19回アウトドアカレッジ ダム部

当日の様子はYouTubeでご覧いただけます！



【全編】

第17回までの振り返り (ダム湖面利用)

- 第3回・第6回・第12回で、ダム湖周辺整備や湖面利用をテーマに、アウトドアカレッジを開催
- 意見交換や交流により、ダム湖面利用における様々なキーワードが生まれている
- 現在までの事例分析により、設楽ダム湖面利用における具体的な利用方法を検討するにあたり、住民・事業者などで構成される**湖面利用協議会(仮称)の設立**も手法のひとつ
- 今後も、勉強会、視察、事例紹介なども企画していくので、参加者の皆さんには継続的に関わっていただく(初めて参加いただく方大歓迎!)
- 令和14年(2032年)の試験湛水までに、湖面利用協議会準備会(仮称)を設立することを前提に、湖面利用の具体案が策定されている状態を目指す
- 湖面利用のほかに、ダム湖への降り口の整備について、関係機関と調整しながら取り組む予定

第17回の振り返り (ダム湖面利用)

- ダム湖面利用の事例共有
 - 設楽ダムにおけるダム湖面利用の検討
 - 湖面へのアクセスルートの検討や意見交換
- 第17回終了後、意見や要望を設楽ダム工事事務所に伝達



←第17回報告資料はこちらからご覧いただけます！

第17回アウトドアカレッジにおける湖面アクセスに関する要望

湖面へのアクセスに関する要望は以下のとおりです。

①川向公園

舗装されたスロープで、湖面にアクセスしたい。スロープとは別に階段でもアクセスできるようにしたい。(公園に駐車場がある前提。また湖岸が斜めで、湖面に合わせて上下する筏のようなものを設置することを想定。)

②大名倉公園

アスファルトで整備されたスロープではなく、人が歩いてアクセスできる程度の道や地形であれば問題ない。

③八橋公園

アスファルトで整備されたスロープではなく、人が歩いてアクセスできる程度の道や地形であれば問題ない。

④八橋 ダム湖への流れ込み部

玉砂利を敷いて、魚の産卵場所を整備したい。

⑤ふれあい広場下

ここは駐車場があり、湖面利用の起点になると想定されることから、人の往来がしやすく、ボートなどの搬入がしやすいようにスロープ乗り入れができるようにしたい。

⑥山村都市交流拠点施設

ダム湖へアクセスできるように舗装路を整備し、網場を回避できるようにして湖面を利用したい

※魚の放流については、スロープがなくても問題ない。魚は回遊するので、放流できるところから放流する

→6点について、**ダム工事事務所に整備を要望予定**

第17回アウトドアカレッジにおける湖面アクセスに関する要望(地図)



②大名倉公園
アスファルトで整備されたスロープではなく、人が歩いてアクセスできる程度の道や地形であれば問題ない。

①川向公園
舗装されたスロープで、湖面にアクセスしたい。スロープとは別に階段でもアクセスできるようにしたい。(公園に駐車場がある前提。また湖岸が斜めで、湖面に合わせて上下する筏のようなものを設置することを想定。)

④八橋 ダム湖への流れ込み部
玉砂利を敷いて、魚の産卵場所を整備したい。

③八橋公園
アスファルトで整備されたスロープではなく、人が歩いてアクセスできる程度の道や地形であれば問題ない。

⑥山村都市交流拠点施設
ダム湖へアクセスできるように舗装路を整備し、網場を回避できるようにして湖面を利用したい。

⑤ふれあい広場下
ここは駐車場があり、湖面利用の起点になると想定されることから、人の往来がしやすく、ボートなどの搬入がしやすいようにスロープ乗り入れができるようにしたい。

ダム湖面へのアクセス等について(進捗)

設楽ダム工事事務所

- アウトドアカレッジでまとめていただいた意見や要望等は、ダム本体の施設管理計画や流木搬出計画を策定するにあたり、必要であると位置づけたアクセスルートに関しては、整備できるように検討していく
- 要望どおりのアクセスルートが整備できるわけではないので、ご理解いただきたい
- 湖面へアクセスするために整備したスロープを、将来的に誰が占有していくのかの議論を継続する必要があると考える

設楽町

- 今回の意見や要望等を、受け入れる受け入れられないという判断ではなく、計画に載せる方向で検討していくという認識で良いか→良い(設楽ダム工事事務所)
- 湖面利用について、これまでアウトドアカレッジで3回議論を続けてきた
- 以前ダム工事事務所長から、今の時期に要望すれば工事の工程上間に合うと説明を受けている
- できる、できないことがあるのは承知の上で、可能なものは工事に落とし込んでもらえるという認識でいたので、今回の回答は物足りなさを感じる
- 計画ができるまで、意見や要望等を取り入れてもらえる可能性があるかと理解した

参加者

- アクセスルート整備の要望が取り入れられるかどうか、いつわかるのか
- 実現されないなら、別の案を考える必要もあると思うが

→設楽ダム工事事務所から設楽町へ、計画策定のスケジュールや要望等の期限を改めて提示予定

ダム湖面利用に関する意見等

- 商工業や観光につながるような、湖面利用やアクセスルートの整備ができるとうい
- 田口エリアに事業者が集まっており、山村都市交流拠点施設が田口から一番近い湖面へのアクセスルートになると思うので、ぜひ整備してほしい
- 設楽町は星空がきれいに見えるので、天体観測で湖面利用できると良いのではないかと
- 浮島にボートを横付けできるなどうまく利用したい
- ボートの発着が浮島に遠くても、問題ない(浮島までの移動がアクティビティ)
- 雨が降らない時期には、1日1m程度水位が下がることも考えられるので、水位の上下を想定して利用方法を検討する
- 湖面で星を見る際に、周囲の明かりが問題になるが、橋や道路の照明を暗くしたり、なくしたりできるか
- 照度確保の問題で、真っ暗にはできない。周囲に明かりが漏れない照明を取り入れて橋を建設する事例もあるが、設楽ダムの場合はずでに工事が進んでおり、今からは、難しい

ダム湖面利用視察提案

令和7年3月19日(水)19時～21時開催

貯木場利活用を考えよう！第20回アウトドアカレッジ@役場議
場にて周知予定

ご案内

令和7年3月19日(水)19時～21時

貯木場利活用を考えよう！第20回アウトドアカレッジ@役場
議場

令和7年3月23日(日)

設楽町地域おこし協力隊活動報告会@旧田峯小

人と自然と繋がりを五感で感じる場

アウトドアアカレツジ

つながり、
はじまる。

設楽町での豊かな暮らしを
未来に繋いでいくために、
今ある地域資源、語り継がれ
る文化などを再認識します。
私たちの町に活気、愛着、
自信を！



○内容：ダム湖周辺整備・焚き火を囲む会 など

○スケジュール：第3水曜日 19:00～ ※zoomでも参加可能（月に1回程度開催予定）

主催 / 企画ダム対策課

問い合わせ先 / 企画ダム対策課：0536-62-0514

(kikaku@town.shitara.lg.jp)



◀開催情報はこちら